



2025 年度  
第 43 号

# 体育市民連帯 ニュースレター

1  
体育会長の最側近  
元卓球協会事務所長  
警察の  
家宅搜索



2  
スポーツ人権ですか？  
「トゥウルス」  
という  
人がいますね



3  
財政難に歯止めがかかった  
体育文化施設  
「脱世宗」を  
阻止できない世宗



4  
2025  
学校体育大賞授賞式  
教育現場の  
教師を激励



5  
スポーツ学研究費  
1%の罫  
K スポーツ科学のための  
戦略的投資が急がれる



大韓民国スポーツの

根本的变化を

皆さんと共に

作って行きたいです

体育市民連帯と共に

していただけますか？



\*

## 01 ハンギョレ 2025-11-20

## 「柳承敏、体育会長の最側近」元卓球協会事務所長、警察の家宅搜索



柳承敏大韓体育会長の最側近である鄭ヘチョン元大韓卓球協会事務所長が最近、警察の家宅搜索を受けたことが分かった。鄭所長は、議論の的となっている卓球協会後援金インセンティブ制度の導入を主導した当事者だ。彼は今年初め、2026 江陵世界マスターズ卓球選手権大会組織委事務

総長に席を移したが、江陵マスターズ大会事務総長職からも退いた。

20 日、卓球界と 2026 江陵世界マスターズ卓球選手権大会組織委などを取材した結果、鄭所長の江陵マスターズ大会組織委事務室と自宅が押収搜索されたことが分かった。彼が江陵マスターズ大会の事務総長の座から退いた事実も後になって確認された。

鄭ヘチョン元卓球協会事務所長は、「柳承敏」会長の最側近だ。2019 年、柳承敏会長が卓球協会長に就任した時から協会の運営を総括し、柳会長を補佐した。

だが、彼が卓球協会事務所長として在任しながら主導的に導入した後援金インセンティブ制度は 4 月スポーツ倫理センターによって根拠がないと判断された。後援金誘致金額の 10%をインセンティブとして返す方式は「役員は報酬を受けることができない」という定款に違反したということだ。これに伴い、スポーツ倫理センターは鄭前所長を捜査機関に告発し、役員らのインセンティブ受領額還収と関連者懲戒を協会に勧告した。

大韓卓球協会スポーツ公正委員会は 7 月、管理不行き届きの責任を問い柳会長に譴責懲戒を下したが、以後市民団体が柳会長を警察に告発した。最も多くの後援金を誘致した柳承敏会長がインセンティブを受けなかったが、助けてくれたという柳会長の知人が 2 億ウォンを受け取ったことについて借名受領疑惑を提起したのだ。柳会長はこれと関連して国会国政監査場で質問が出るや、「不法リベート疑惑が事実と明らかになれば責任を負って辞退する」と話した。

先立って龍仁西部警察署は同一事案に対して柳会長を無嫌疑処分し、現在ソウル警察庁広域捜査団金融犯罪捜査隊が業務上背任などに対する最後の調査をしている。

出典：[https://www.hani.co.kr/arti/society/society\\_general/1230283.html](https://www.hani.co.kr/arti/society/society_general/1230283.html)

## 02 ザファクト 2025. 11. 21

## スポーツ人権ですか？「トゥトゥルス」という人がいますね



おしゃべりで爆笑しました。2025 年に旺盛な活動を繰り広げているキム・ヒョンス体育市民連帯執行委員長(47)とインタビューをした後、彼と近いチョン・ヨン Chol 教授(西江大、体育市民連帯共同代表)に短い人物評を要請しました。ほぼノータイムで出た答えが「トゥトゥルス」でした。闘士になったト

ルトルスマーフ（訳注：アニメの主人公でスマーフ村を舞台に展開される）。スポーツ人権については妥協を知らない彼の真剣さ、ただ純粹に見える大きな瞳とハンサムな外見、そして彼の経歴まですべて盛り込んだ絶妙な表現でしたから。今週の「スポーツレキシオ」は一般の人にはあまり知られていませんが、韓国の体育界でなくてはならないことをしているキム・ヒヨンス委員長を取り上げます。それは「スポーツと人権」の話です。

11月8日、柳承敏大韓体育会長がソーシャルメディアに長文の文を載せ話題になりました。要旨は「偶然に夜12時盆唐のある塾街の風景を見たが、一般学生が夜12時まで勉強するのは自然な現象であり、学生選手が一日に特定時間以上運動するのは虐待か」でした。「そう考える人の考え方が理解できない」とも付け加えました。複数のメディアがこれを報道し、SNS上の共感指数も高く見えました。柳会長が狙撃した「そう考える人」の代表的な人物がキム・ヒヨンス委員長でしょう。これからご意見を伺いました。

「柳承敏会長は時間に対する理解が不足しているように見えます。学生選手は夜12時でも午前1時でも個人トレーニングをいくらでもしてもいいです。なぜなら、自発的な活動だからです。問題は、指導者が行く、つまり個人の選択権が排除された訓練時間です。このために学業はもちろん、日常生活にも人権侵害が発生するのです」キム・ヒヨンス委員長は柳承敏会長の主張を古臭い扇動と規定しました。「柳承敏会長の文は、学生選手の学習権を無力化しようとする人々の古い論理から少しも外れることのない繰り返しです。（柳会長が言及した）IOCの事例もデジタル環境による運動不足問題から出たものです。IOC、ユニセフなどが国連児童権利協約に基づいてスポーツによる児童虐待と早期消尽に対して厳しく反対していることには言及しません。このように偏狭な考え方をする人が大韓体育会長になったこと自体が問題だと思います」

論理が明快で、発言のレベルは非常に高かったです。一体どんな人なのでしょう？彼はもともと体育哲学を勉強する人でした。「大学で体育教育学を専攻しました。中高校や学部まで遊ぶことは全部遊んだせいか、大学院時代からは勉強するのが楽しかったです。机に座って勉強し、論文を書くのが楽しみでした。自慢一つすると、修士3学期の時に掲載誌に論文を初めて掲載しましたが、以後40編近くになる論文審査で一度も脱落したことはありません。早い年齢で韓国体育哲学学会の学術理事を務め、いくつかの論文が検索サイトで上位5%以内と表記される時、とても胸がいっぱいでした」資料を探してみると、彼は29歳で大学講義を始め、34歳で専任教授になったほど前途有望な若い学者でした。

スポーツ人権専門家への変身は2019年2月でした。2018年に体育界のMeToo熱風が吹き、国家人権委員会がスポーツ人権特別調査団を発足させました。キム・ヒヨンス教授は専門性を高く評価され、調査団長に任命され、3年間活動しました。「体育界の人権問題を全数調査しました。調査団全体が本当に一生懸命働き、それなりの成果もありました。2020年、故チェ・スクヒョン選手の切ない死があったため、なおさらです」切って結ぶのが明らかな彼は、「団長」として「御供」となり、少しも迷うことなく大学に辞職届を提出しました。それだけスポーツ人権に確かな所信を持っており、人生をかけたのです。

このところで、ついつい問い詰めるように聞きました。調査団の活動にもかかわらず、変わっていないようだというご質問ですね。2025年だけでも、中学校のシルム（韓国相撲）選手のスコップの柄による暴行事件、鉄人3種性暴力隠蔽事件、スピードスケート選手の刃物沙汰事件、フィギュアスケート児童虐待、リングの上で脳死状態に陥った中学生ボクサー、ショートトラック国家代表指導者の不法解任など、恐ろしいスポーツ界の人権侵害事故が続きました。

「問題が発生すると、政府や体育団体が反射的に出す対策は、約 20 年以内にすべて出てきたものです。体育界の人権問題は構造的に 50 年が越え、改善努力後も 20 年が過ぎました。しかし、問題は依然として残っています。理由は明白です。「実効性」不足です。政策があり、規定があり、法もあり、今は予算と人材があるスポーツ倫理センター(2020 年 8 月発足)もあります。これらすべてが現場で正しく機能しないことが問題です。解決策を言う前に、政府や体育団体の関係者が真正性のある実践力を備えなければなりません。ここに体育市民連帯の最大の存在理由があるのです。」

2022 年に人権委で任期を終えた後、彼は 1 年を完全に休んだということです。以後、大学講義、人権特講、コラム連載、関連機関諮問、人権講師養成、著述などスポーツ人権専門家として活動したが、2024 年体育市民連帯の執行委員長提案を受けて受諾しました。故チェ・スクヒョン選手と遺族に個人的に負債感を感じていましたが、体育界初の市民団体である体育市民連帯(2002 年設立)ならやるべきことがあると判断したのです。

「過去の執行委員長たちは大部分が教授出身なので、体育界の構造的な不条理を捉え、問題を提起するのに卓越しました。私は教授出身でありながら、国家人権委員会の管理者経験があり、直接的に国会、マスコミ、関連省庁との協力が容易だという長所があります」今年、体育市民連帯が「歴代級」として旺盛な活動を繰り広げたことにはそれなりの理由があったと言えます。

キム・ヒョンス執行委員長は今後の活動がさらに期待される体育界の人物です。ところが、教授職を辞めたため、食べていく問題が懸念されました。お金にもならないことに熱中すると、家で顔色をうかがうものですから。「家族を飢えさせたことはありません。今しばらくお金が稼げずにいるのですが、そうすると家で「ガツガツ」されても当然ですよ(笑)。ビジネスの腕の良い妻のおかげで、経済的な困難はありません。家で言うことをよく聞けばいいです。むしろ私がやりたいことに専念できるので、私は嬉しいです」

周辺を探しまわると、金賢洙委員長は学生時代、それなりに町(浦項)でイケメンだったそうです。女子学生たちから付き合いたいというラブレターを何度も受け取り、携帯電話がなかった時代、家に電話がたくさんかかってきて、親が電話番号を 3 回も変えたそうです。ハンサムなトルトルイスマーフがスポーツ分野最高の人権闘士になったのは確かなようです。

出典：<https://sports.news.nate.com/view/20251121n01664>

### 03 TBC 2025-11-18

#### 財政難に歯止めがかかった体育文化施設「脱世宗」を阻止できない世宗



##### 【 アンカー 】

成長が止まった世宗市の現実と代案を探ってみる企画報道。

今日は去る人口を捕らえる余力さえない

世宗市の深刻な財政難問題について考えます。

予算不足で生活体育施設と文化施設造成事業が相次いで中断し、若年層の脱世宗を煽っているという指摘です。

チョン・ユジン記者が探ってみました。



【 記者 】

車でいっぱいのこと。

見た目は駐車場だが、元々はプールと室内体育館が入る予定だった敷地です。

世宗・盤谷洞公共体育施設予定敷地として事業が漂流し、臨時駐車場としてのみ活用されています。

▶ スタンディング:チョン・ユジン/記者

－ 「今私が立っているここセロム洞の芝生広場も同じです。 世宗市が発足した 2012 年から、この敷地を公共体育施設として活用することにしていたのですが、予算の問題で 10 年以上放置されると、結局、去年、臨時活用案としてこうした臨時芝生広場が建設されました。 ”

世宗市が予算を確保できず、購入を先送りした金剛休養林は今年 6 月から閉鎖されています。

休養林の敷地と樹木園は忠清南道が所有し資産価値は約 3 千億ウォンに達しますが、世宗市が買収する余力がなく、忠清南道が民間売却を推進すると伝えられています。

市民のためのレジャー空間でさえお金がなくて守れなかったわけです。

生活体育施設だけでなく図書館と公共文化施設、福祉事業、単純な道路の修理でさえ予算不足にあえいでいる状況です。

▶ インタビュー:ユン・ヨンサン/世宗愛市民連合会事務局長

－ 「道路の部分に対して私たちが直して改善しなければならないが財政不足のためにできていないと話をします。そのような苦情を全体的に市が全て聞き入れることができません。 ”

このような財政難の背景には、急激な税収減少が位置しています。

公共住宅の開発が活発だった時期には取得税のおかげで世宗市の財政が比較的安定的でした。

しかし、不動産景気の低迷と新規宅地開発の中断以降、税収は 2021 年の 3,300 億ウォンから 2 年ぶりに半分以下に激減しました。

▶ インタビュー:チャン・ミンジュ/世宗市政策企画官

－ 「現在は都市開発がほぼ完成段階に入ったため、世宗市の主な歳入だった取得税、不動産取引が大幅に減った部分があります。このように税収は減少し、維持管理費は爆発的に増加したため……。 ”

世宗市は来年度予算確保のため 736 億ウォン規模の地方債を追加発行することにしました。

しかし、累積負債が増えるほど、新しい事業を始める余力は減り、借金で耐える財政はすでに限界に達しています。

抜け出す人口を捕まえるには結局、「『お金が回る都市』に変わらなければならないが現在の世宗市は、空き地と止まった事業が増えつつある『停滞した都市』に変わっています。

TJB のチョン・ユジンです。

出典 : <https://www.tjb.co.kr/news06/bodo/view/id/88692>

## 04 聯合ニュース 2025-11-20

### 2025 学校体育大賞授賞式・・・教育現場の教師を激励



生徒の健康な成長を導く学校体育の重要性を強調し、教育現場で黙々と指導に邁進する教師を励ますための「2025 学校体育大賞」授賞式が 20 日、ソウル中区の韓国プレスセンターで開かれた。この授賞式は 2016 年、教育部、学校体育振興会、スポーツ朝鮮が制定し、今年で 10 回目を迎えた。

今年は歴代最多規模の 110 校が公募に参加した。

体育授業、学校スポーツクラブ、学校運動部、特殊体育教育、女子学生サッカー活性化の 5 分野 14 部門（個人 12、団体 2）に分けて公募作の審査を経た後、最も優れた成果を出した教師と学校を選定し、教育部長官賞（7）と主管団体長賞（4）、後援団体長賞（3）をそれぞれ授与した。

体育授業分野ではソ・ユヨン教師（天安一峰小）とパク・ヤンギョン教師（ウェソル中学校）が大賞の教育部長官賞を受賞する栄誉に輝いた。チョン・ヨンジュ教諭（亀尾仁徳小）とキム・ミンチョル教諭（京畿科学高）は最優秀賞を受賞した。

学校スポーツクラブ分野では、チョン・ジンホン教師（永万小）とソン・ガンヘ教師（牙山培芳中）が大賞を受賞し、ムン・ジュンギ教師（聖淵小）とイ・フィジェ教師（ソンジュ高）が最優秀賞受賞者に選ばれた。

学校運動部の分野では、ユ・ジョンヒョン教師（シングァン中）とパク・テジュン教師（サンムン高校）がそれぞれ大賞、最優秀賞の主人公になった。

特殊体育教育分野では、李ハンスク教師（文興小学校）と小デヨン教師（大邱イルム高）にそれぞれ統合し、特殊部門の対象が与えられた。

女子学生サッカーの活性化分野では、チムサン小学校とブルロ中学校がそれぞれ小学校、中等部門で大賞を受賞し、大韓サッカー協会長賞を受賞した。

各分野の大賞受賞者には賞牌と賞金 100 万ウォン、最優秀賞受賞者には主管・後援団体長賞および賞金 50 万ウォンが授与された。

出典：<https://www.yna.co.kr/view/AKR20251120130600007>

## 05 朝鮮日報 2025. 11. 20

### スポーツ学研究費 1%の罫、K スポーツ科学のための戦略的投資が急がれる



韓国は五輪メダル順位圏に入るスポーツ強国だが、その裏の体育学研究環境は構造的欠乏状態に置かれている。国家研究開発（R&D）予算の大多数が理工系

（STEM）分野に圧倒的に偏っている現在の状況で、体育学は人文社会や芸術分野とともに 1%前後の小さな役割をめぐって競争しなければならない構造的ジレンマに陥っている。

しかし、体育学は単に競技力向上だけに寄与する学問ではない。運動科学は慢性疾患予防、老人健康管理、児童発達支援など国民生活全般と直結し、これは国家医療費節減と社会的費用縮小につながる。したがって、体育学研究費の不足は単に学問内部の問題ではなく、国家的課題を解決するのに致命的な制約要因になる。今こそ体育学を「戦略的投資」対象と認識し、固有の特性を反映した研究支援体系を用意しなければならない。

体育学研究費の受注環境の根本的な問題点は、まさに「1%の罨」から始まる。国家 R&D 予算が半導体、AI など国家戦略技術に数十兆ウォン単位で集中し、工学分野が全体大学研究費の 40%以上を占有する間、韓国研究財団学術支援事業で体育学が属した芸術・体育学分野は依然として 1%内外に留まる深刻な資金偏重を体験している。また、2024 年文化体育観光部予算案内で体育分野増額率は 1.8%に過ぎず、コンテンツ・観光分野の 10.7%増額と対比され、これは総予算の約 0.6%に過ぎない水準だ。これは政府の投資優先順位で体育学が後順位に落ちていることを示している。

このような低い予算比重は高価装備が必須なスポーツ科学研究の特殊性を全く反映できず、結局多くの研究者が長期的な基礎研究より短期政策課題や小規模産業化研究に依存するようにしている。その結果、学問的土台が弱まり、スポーツ産業を支える知識基盤が枯渇する悪循環が続いている。

この悪循環を断ち体育学研究競争力を強化し、国家的効用を極大化するためには研究性格にともなう支援主体の分離と予算を増額する「ツートラック (Two-Track) 戦略」が必要だ。最初のトラックは韓国研究財団 (NRF) の役割強化だ。NRF は体育学の基礎研究環境の安定化に集中しなければならない。現行の人文社会分野内で「芸術・体育学」分野に対する最小限の予算配分比率を義務化したり、最初から別途の融合科学研究分野トラックを新設して体育学が人文学/社会科学研究費と競争する構造を解消しなければならない。また、スポーツ科学特性化研究所およびセンターの高価核心研究装備の構築費用を長期的に支援し、研究インフラを確保しなければならない。

2 番目のトラックは、国民体育振興公団 (KSP0) と文化体育観光部の投資拡大だ。彼らは体育学研究の実用化と産業応用を担当しなければならない。スポーツ R&D を文化芸術支援ではなく、産業 R&D の観点から再編し、大規模に増額し、支援課題を体育学基盤の学際間融合コンソーシアムの形で設計し、体育学研究者が産業需要に合う大型プロジェクトを主導できるようにしなければならない。

結論として、体育学の研究はオリンピックのメダル以上の価値を持つ。これは国民医療費の節減という経済的便益、健康寿命の延長という社会的価値、そしてスポーツ産業の高付加価値創出という国家的効用を同時に実現する最も効率的な未来投資だ。もはや政府と国会は、体育学をこれ以上「1%の罨」に放置してはならない。韓国研究財団を通じた基礎研究基盤の確立と国民体育振興公団を通じた産業および政策還元という戦略的な投資を断行しなければならない。

K-カルチャー、K-半導体に続き、K-スポーツ科学が世界を先導する時、韓国は単なるスポーツ強国を越え、国民の健康に責任を負って、ひいてはグローバルスポーツ科学ハブに跳躍することができるだろう。今こそ、その政策的決断の瞬間だ。崔グァンヨン韓国体育学会長 (韓体大教授)

出典：[https://www.chosun.com/sports/sports\\_general/2025/11/21/GNSTEQJSM2WEMDGGJSGCNDBGE/](https://www.chosun.com/sports/sports_general/2025/11/21/GNSTEQJSM2WEMDGGJSGCNDBGE/)

# 体育市民連帯オンライン 定期後援案内

万人が楽しむスポーツ世界、体育市民連帯が共に作ります。  
私達連帯の活動に積極的に賛同していただくことを願います。

私たち体育市民連帯は体育人の権益保護と  
福祉実現のために努力しています。  
皆さんの小さな心づかいがより良い世界のための  
体育市民連帯活動に強固な土台となります。  
体育市民連帯会員として力になろうと  
される方は下の口座に後援お願いします。

国民銀行 086601-04-095940

口座名義：体育市民連帯

オンライン定期後援は下のリンクを通じてホームページからできます。

多くの関心をお願いします。

体育市民連帯 ソウル市 瑞草区 瑞草洞 孝寧路 230 スンジョンビル 407 号

Tel : 02-2279-8999、E-mail : [sports-cm@hanmail.net](mailto:sports-cm@hanmail.net) ホームページ : <http://www.sportscm.org/>

日本語訳：佐藤好行 新日本スポーツ連盟 国際活動局 韓国担当 [jr1fep@gmail.com](mailto:jr1fep@gmail.com)

週刊ニュースレターバックナンバー（資料室） <http://www.yg.jpn.org/sportscm/index.html>